

【Check - 評価】

(1) 前年度評価シートの改善内容の実施状況

平成19年度の改善予定	平成19年度の改善結果
蔵書の総点検を実施、閲覧・貸出体制を整え、インターネット予約や県内図書館との相互貸借を開始し、利用者の利便性の向上を図る。また、盛況な利用状況を利用者ももとより、町民に広く知らせ、図書館の有用性をアピールする。多くの利用とそれに伴う多様なニーズに応えられるよう、資料購入費予算を増額する。館内に意見箱を置き、利用者の意向を把握し、館運営等の改善や利用者との信頼関係が築けるよう努める。	開館以来の蔵書点検を実施し、蔵書体制を整えた。これによりインターネット予約や県内図書館との相互貸借を開始でき、図書館サービスの強化が図れた。また来館者数延べ30万人を突破したことを広報し、当館の盛況ぶりと有用性をPRした。これらの高い利用ニーズにこたえることと、蔵書計画に基づき、図書購入費に2000万円を年度の途中で増額し、蔵書の充実が図れた。意見箱から寄せられた意見・要望等はすべて全職員が目を通し、利用者の要望を把握するとともに、館運営等に反映できるものは反映し、記名のものにはすべて回答し、一定の理解を得ることができた。

(2) 事務事業の評価

評価の視点	評価のポイント	評価	理由
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 必要な事務事業か 事務事業のニーズは 事務事業の公共性は 社会環境変化 	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当である <input type="checkbox"/> あまり妥当ではない	町として総合図書館の設置は長年の課題としており、多くの町民から設置要望の声が寄せられていた末の開設であった。その大きな期待とニーズは、来館者数が当初の予想を大きく上回るなど開館後の好調な利用状況に表れている。
妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 町が実施すべき事務事業か 町が実施しない場合の影響は 町民との協働は進めているか 	<input checked="" type="checkbox"/> 町が行わなければならない <input type="checkbox"/> 町が行った方がよい <input type="checkbox"/> 町が行うべき必然性が低い	図書館を単に開館させるだけでなく、町民の文化興隆または生涯学習の拠点として発展強化させていくには、蔵書の構成や購入・収集計画、図書館運営のノウハウの蓄積など長期的視野に立った計画、運営が不可欠であり、その責任について町は町民に付託されているので町が主体にならざるを得ない。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 対象者の満足度や事業の達成度はどうか(成果指標の状況) 	<input checked="" type="checkbox"/> 十分成果が上がっている <input type="checkbox"/> 成果は十分とはいえない <input type="checkbox"/> 成果は上がっていない	来館者数や貸出点数が、いまだ高水準を維持していることは、当館に対する期待と満足度が依然高いことを示していると考えられるため。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 事業費に無駄はないか 	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切だが改善の余地がある <input type="checkbox"/> 効率的でない	維持管理面では館内照明や空調等の無用な使用を抑え、館内清掃業務の効率的時間短縮を実施。運営面では前年度の来館者数に基づき曜日ごとの来館者数の多寡を推測、臨時職員の配置数の増減調整を行った。自転車等整理業務についても来館者数の多寡により、業務実施の有無を判断した。

【Action - 改善】

(1) 事務事業を進めていく上での課題、解決に向けての改善内容

	課題	平成20年度	平成21年度以降
妥当性			
有効性	より高い満足を得てもらうために資料提供の工夫と相談や要望に応じられる職員体制づくりが必要	レファレンス体制の構築(職員のスキルアップ)	レファレンス体制の充実とフロア案内(御用聞き・読書相談)の実施、駐車場の増設
効率性	効率性のある開館時間、開館日であるか。	利用者の動向把握(曜日ごと、時間帯ごとの来館者・貸出・返却・相談等利用状況)。	過去3か年の利用者数動向に基づき、効率の良い開館時間と開館日の設定検討。

(2) 事業の今後の方針(課長による評価)

活動指標の目標	<input checked="" type="checkbox"/> 高める <input type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	開館から順調な利用状況が続いているが、利用登録率が町民の2割を超えたところで図書館サービスの質を高め、新しい利用者の発掘に努め、多くの町民の読書意欲を高めていくことが重要であるから。
成果指標の目標	<input type="checkbox"/> 高める <input checked="" type="checkbox"/> 設定どおり <input type="checkbox"/> 下げる
理由	開館時に全国図書館の利用統計から設定した数値であり、近隣図書館の状況と比しても高水準であることから、今後もこの数値を目標に図書館サービスを充実させていくことが適当である。
事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小・廃止・終了 <input type="checkbox"/> 統合
理由・内容	正規図書館が無かった自治体として開館したので、図書館サービスの根本的なところから整備を進めているが、町民の利用が進むにつれてレファレンスの充実等サービスの質を高めていくことが求められている。